

第6回 ひょうごユースecoフォーラム

HYOGO YOUTH ECO FORUM



絵：県立豊岡高等学校 橋本 ひなた

日時 令和6年12月14日(Sat)11:00~16:00

主催 兵庫県・公益財団法人ひょうご環境創造協会

／ 会場 兵庫県立工業技術センター 研究本館 2F

／ 協力 兵庫県立人と自然の博物館・兵庫県立淡路景観園芸学校

タイムスケジュール

10:30 ~ 11:00	ポスター展示観覧
11:00 ~ 11:10	オープニング
11:10 ~ 12:25	口頭発表（7団体）
12:25 ~ 14:00	昼食 & ポスターセッション ※13:00~14:00はポスターセッションコアタイム
14:00 ~ 15:55	グループディスカッション
15:55 ~ 16:00	クロージング

総合コーディネーター

なかせ いさお

中瀬 勲

兵庫県立人と自然の博物館 名誉館長



兵庫県立大学自然・環境学研究所長、同大学院緑環境景観マネジメント研究科長、兵庫県立人と自然の博物館館長、兵庫県立丹波の森公苑長等を歴任。専門は多自然居住地域のまちづくり、ランドスケープ計画・設計論。国土交通省、環境省、兵庫県、神戸市等多くの審議会委員・アドバイザーを務める傍ら、各地の地域づくりにも深く関わる。著書に「みどりのコミュニティデザイン」（共編著）、「私の風景論」等。



学生スタッフ

本日の進行は学生スタッフが行います。

駒ヶ嶺 光	/兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科	小松原 奏穂	/神戸山手女子高等学校
山崎 快彦	/兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科	内田 るみか	/神戸山手女子中学校
清水 まどか	/神戸山手女子高等学校		



1 地球環境と産業化研究会（SGEIS）

若い世代との連携で脱炭素行動を促す活動を目指す

地球環境と産業化研究会は、2050カーボンニュートラル実現に向けた学生さんや若い世代の育成のための教育・啓発・実践活動に取り組んでいます。

SGEISの基礎講座や勉強会で具体的な取組事例を発表し、発表者からは、「学校以外での発表は貴重な経験」、「視点の違う意見が参考」、「他の方々ともっと交流したい」など嬉しい声をいただいています。一方で、「脱炭素行動への取り組み方がわからない」、「最も身近な自宅のCO2排出量を知らない」との課題が明らかになっています。

脱炭素の取り組みをより身近なもの、自分事として考えてもらえる様なプログラムを開発しており、SGEISの基礎講座、勉強会や見学会に織り込み、一人ひとりの脱炭素行動を促すことを目指しています。学生さんが自宅のCO2排出量を認識し削減対策を自ら実践しており、うちエコ診断WEBサービスを利用し、意識改革や脱炭素行動に展開いただくことを期待しています。

2 兵庫県立龍野高等学校 自然科学部 生物班

生物多様性龍高プラン

生物多様性は急速に衰退している。里山ではシカの大量増殖による食害で低木や草は減少し、ため池ではアメリカザリガニの分布拡大により、多くの水生植物群落が消滅している。県立人と自然の博物館や、姫路市立手柄山温室植物園では県内の絶滅危惧植物などの生息域外保全などをおこなっているが、絶滅危惧種はあまりにも多く、これらの機関のみでは保全活動は困難である。地域の自然環境を守るためには、地域の住民の活動が不可欠であり、持続可能な活動には高校生など生徒・児童の参加が大切である。そこで龍野高校では自然科学部や授業課題研究において地域の生物多様性の保全をテーマに「生物多様性龍高プラン」を実施している。

3 MIXES ミクシーズ

但馬の中心で GOOD ACTION を叫ぶ！

日ごろ、環境に対しての新たな行動方法を知ろうとするきっかけはあまりなく、さらに得られる情報も固いものが多く、意識が高い人しかできないものというイメージができています。そこで今回、但馬において100人を目標に、自分がしている、環境に良いちょっとしたことをインタビューして話して頂き、それを動画としてまとめ様々な方に観ていただく事で、より多くの人に環境に対するgood action を起こしてもらいたいと思い企画しました。「環境にいいこと、何かされてたら教えてください？」「もしくはこれからやろうと思われてることがあれば？」という質問です。知り合いが出てないかな？などをきっかけに動画を観た地元の方が、実はできる事に沢山気づき、また、他者がしてることで自身も啓発され新たな行動をされることを目指しています。

4 株式会社エフピコ

エフピコ方式の循環型リサイクル

エフピコでは、1990年より34年間、使用済み食品トレーをもう一度トレーに戻す「エフピコ方式の循環型リサイクル」を実施しています。

消費者・スーパーマーケット・包材問屋・エフピコ。

四者の協力で成り立つ循環リサイクルは、ご参加者の皆さんおひとりおひとりが主役です。

また、エフピコでは、発泡トレーのみならず、透明容器、ペットボトルも食品容器にリサイクルいたします。

「地球の未来をトレーに乗せて」

この合言葉のもと、「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」の循環リサイクルを継続し、今後もプラスチックの有効活用をしてまいります。

5 玉ーアクアリウム

明石川と共に生きる～季節来遊の生き物たち～

私たちは「明石川と共に生きる」という思いで1年を通して1週間に1度以上明石川水系の源流～河口までモニタリング調査をして外来種の駆除と在来種の保護を行い生物多様性保全活動をしています。調査をしている明石川下流～河口で数年前から急に熱帯性の生まれた所とは違う海域にたどり着き季節の変化によって死んでしまう季節来遊魚や季節来遊の生き物が増えてきました。調査の結果、一部が死なずに明石川下流で越冬し成長して定着していることもわかり、産卵場所も日本近海の近い場所になっている可能性も出てきました。私たちが持ち込んだ外来種は在来種にとって脅威ですが、私たちの生活で地球温暖化や海水温上昇などによって季節来遊魚や季節来遊の生き物が増えて定着したら在来種にとって同じように脅威になるはずです。生態系だけでなく漁業への影響も心配で、明石川下流～河口でも環境の変化を早く知るために、これからも調査を続けます。

6 シカから自然環境等を守る但馬北部連絡会

シカの脅威

シカの増加が原因で様々な弊害が生じている。

農林業の被害、森林の下層植生食害による生物多様性・生態系の崩壊、交通事故、表土裸地化による土砂災害、土砂流出により河床変化による魚類の変化、ダニやヤマビルによる健康被害等多岐にわたっている。

増加の主な原因は戦後メスシカを保護してきたことである（解禁は平成6年）

対策はシカの生息数を減らすことであるが、ここ10年近く毎年5万頭近く捕獲しているが生息数は15万頭で高止まりしている。生息域の拡大は神戸六甲山系まで来ている。捕獲の強化をしなければ兵庫の森は森林砂漠となってしまう。次世代に豊かな自然を継承する義務が我々大人にある。

7 西宮市立山口中学校モリアオガエル保存会

絶滅危惧種モリアオガエルの保護と水環境保全プロジェクト

今年のプロジェクトでは、モリアオガエルの保護のために、3つの活動を行いました。まず、ため池を主とした水環境の保全のために、地域の方や小学校とも協力して、環境保全ワークショップを12回開催し、地域諸団体と連携しながらボランティア活動を行うことができました。また、これまで行われてきたモリアオガエルの保護増殖活動を維持させながら、樹上生活、夜行性であるために解明されていない生態の調査研究を、ため池周辺、学校ビオトープ池を中心に進めていきました。さらに、水環境エリアを環境学習の場とし、地域の自然環境を大切にしようとする意識を育むために、地域行事に参加して広報活動を行い、自然観察会や飼育体験を実施しました。

ポスター発表



1	兵庫県立農業高等学校 発酵技術研究会	19	NP0法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会
2	NP0法人棚田LOVERS	20	相生湾自然再生学習会議
3	大和フォレストクラブ	21	玉一アクアリウム ※口頭発表
4	認定こども園七松幼稚園	22	ひょうご自然教室
5	兵庫県立農業高等学校 生物工学科 植物 バイオテクノロジー研究会（地層班）	23	兵庫県立尼崎小田高等学校 環境班
6	地球環境と産業化研究会（SGEIS） ※口頭発表	24	神戸山手女子中学校高等学校(仮)カメラ部
7	NP0法人創エネ神戸	25	兵庫県立御影高等学校 環境科学部
8	兵庫県立農業高等学校 生物工学科 植物 バイオテクノロジー研究会（総合復興班）	26	ダイハツ工業株式会社 （西宮部品センター、多田エンジニアリングセンター）
9	兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター	27	兵庫県立明石北高等学校 科学探究部生物班
10	農都ささやま外来生物対策協議会	28	シカから自然環境等を守る但馬北部連絡会 ※口頭発表
11	兵庫県立龍野高等学校 自然科学部 生物班 ※口頭発表	29	兵庫県立篠山東雲高等学校 自然科学部
12	生活協同組合コープこうべ	30	西宮市立山口中学校モリアオガエル保存会 ※口頭発表
13	MIxES ミクシーズ ※口頭発表	31	ひょうご環境体験館
14	ひょうご海ごみリーダー養成講座	32	ひょうご高校生・未来リーダー育成プロジェクト
15	株式会社エフピコ ※口頭発表	33	ひょうご1.5℃ライフスタイル
16	GWC Thinkers （兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員）	34	ひょうご豊かな海づくり県民会議
17	温暖化防止こうベネット	35	ひょうご環境保全連絡会
18	一般社団法人いえしま自然体験協会		



発表団体の紹介



1 兵庫県立農業高等学校 発酵技術研究会

SDGs

発酵技術研究会では、微生物が持つ不思議な能力を活用して、身近な課題の解決に取り組んでいます。現在は、微生物を活用した土壌改善に取り組んでおり、小さな微生物が持つ大きな可能性を探っています。

【連絡先】加古川市平岡町新在家902-4 ☎079-424-3341



2 NPO法人棚田LOVERS

SDGs

2007年から農、食、環境の大切さを実践を通じて伝え、美しい棚田を未来の子どもたちにつなげるために棚田でお米を育てる体験、自然体験等を行っています。

【連絡先】神崎郡市川町谷 9 1 5 ☎090-2359-1831



3 大和フォレストクラブ

SDGs

40年間放置されていた、住宅地に隣接した森を整備するために、2011年より活動を始めた有志の団体。森を整備し、近隣住民の憩いの場、青少年の自然体験の場を提供することを目標に活動をしています。

【連絡先】川西市大和西 3 - 6 - 1 ☎072-794-6875



4 認定こども園七松幼稚園

SDGs

園のミドルリーダーの職員は、子供達との活動で地域連携という部分に意識を向けてきました。更に連携を深めていくために、園が地域とどのように歩み、発信をしていくのか、具体的な取り組みについて発表します。

【連絡先】尼崎市七松町 2 - 2 7 - 2 0 ☎06-6418-6732



5 兵庫県立農業高等学校 生物工学科 植物バイオテクノロジー研究会 (地層班)

SDGs

生命科学の視点で農業や環境問題の解決に向けた研究活動を行っています。

【連絡先】加古川市平岡町新在家902-4 ☎079-424-3341



6 地球環境と産業化研究会 (SGEIS)

SDGs

地球環境問題に取組み、将来を担う世代に夢と住み良い地球環境を！皆さん、自分の頭で考え自分の意見を持ち、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みの輪を広げましょう。SGEISと共に学び考えませんか！

【連絡先】神戸市内 ☎info.sgeis@gmail.com

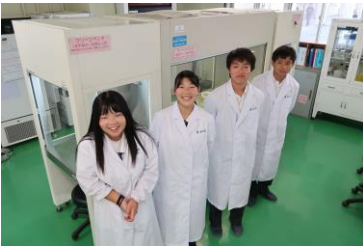


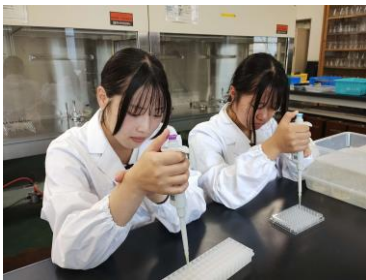
7 NPO法人創エネ神戸

SDGs

神戸市シルバーカレッジのOB、在校生、主婦からなるNPO法人です。地球温暖化防止のために、工作・紙芝居等を通じた環境教育や再エネ・省エネ・蓄エネの調査など、楽しく私達にできることを実践しています。

【連絡先】神戸市北区





8 兵庫県立農業高等学校 生物工学科 植物バイオテクノロジー研究会(総合復興班)

SDGs

生命科学の視点で農業や環境問題の解決に向けて研究活動をしています。

【連絡先】 加古川市平岡町新在家902-4 ☎079-424-3341

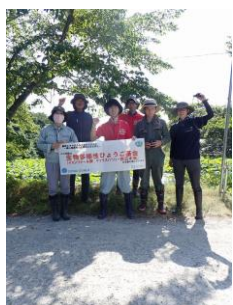


9 兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター

SDGs

私たちエコチル調査は、子どもたちの成長や健康に影響を与える化学物質と環境要因について研究を進めています。子どもたちが健やかに成長できる環境・安心して子育てができる環境の実現を目指しています。

【連絡先】 西宮市武庫川町1-1 ☎0798-45-6636



10 農都ささやま外来生物対策協議会

SDGs

本団体は、丹波篠山市の中心に位置する「篠山城跡」のお堀で、生息生物のモニタリングや外来種の駆除活動を行っています。在来種あふれる健全な生態系の保全再生を目指して日々活動を行っています。

【連絡先】 丹波篠山市北新町41 ☎079-552-5013



11 兵庫県立龍野高等学校 自然科学部 生物班

SDGs

わたしたちは、地域の自然環境や絶滅危惧種など生き物を守る活動「生物多様性龍高プラン」を行っています。主な活動は「しらべる活動」、「まもる活動」、「つたえる活動」、「つながる活動」です。

【連絡先】 たつの市龍野町日山554 ☎0791-62-0886



12 生活協同組合コープこうべ

SDGs

生協は、よりよい暮らしと地域づくりをめざして、組合員といっしょにさまざまな活動をすすめています。環境保全のためフードドライブをはじめ、くらしの見直し運動による、環境保全型社会への転換を推進しています。

【連絡先】 神戸市東灘区住吉本町1丁目3-19 ☎078-856-1212



13 MIXES ミクシーズ

SDGs

地域の様々なことに主体的に関わる、豊岡市内の複数の高校生により構成されるサークルです。様々な活動から今回は、「good actionグッドアクションを叫ぶ!」という環境啓蒙の取り組みを紹介。地域の様々な方に「環境にいいこと、何かされてましたらぜひ教えてください?」と尋ねた際の、みなさまのコメントを編集してまとめ、動画にするものです。



14 ひょうご海ごみリーダー養成講座

SDGs

「令和6年度 ひょうご海ごみリーダー養成講座(全4回)」を受講した兵庫県内の中高生グループです。





15 株式会社エフピコ

SDGs

当社はプラスチック製簡易食品容器（トレイ）のメーカーです。製造責任において自社で製造したトレイを回収リサイクルし、またエコトレイとして循環させる「トレイtoトレイ」を34年間行っています。

【連絡先】西宮市山口町流通センター1-98-2 ☎078-907-1288



16 GWC Thinkers（兵庫県地球温暖化防止活動学生推進員）

SDGs

地球温暖化防止活動について、取材訪問やイベント参加を通じて体験し、SNSを利用して発信している兵庫県の学生グループです。学生ならではの視点を取り入れることを意識して発信しています。

【連絡先】神戸市中央区下山手通5丁目10-1 ☎078-362-3284



17 温暖化防止こうベネット

SDGs

私たちは兵庫県地球温暖化防止活動推進員として県知事委嘱を受けて神戸地域で活動しています。

名前の通り、地球温暖化防止を目的として、一般の方や子供たちに対する啓発活動を行っています。



18 一般社団法人いえしま自然体験協会

SDGs

兵庫県立いえしま自然体験センターの管理運営を行い、海辺の自然体験活動を通して、子ども達や青少年達が、明日の社会の担い手として心身ともに健やかに成長することを目的としています。

【連絡先】姫路市家島町坊勢字東尾友688(兵庫県立いえしま自然体験センター内)
☎079-327-1508



19 NPO法人うず潮を世界遺産にする淡路島民の会

SDGs

「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会と連携し、高速道路SAや島内で開催されるマラソンなど様々な行事においてPR活動を行っています。大規模海岸清掃イベントでは事務局・主催団体として活動しています。

【連絡先】南あわじ市福良甲1528番地4地先ないろ館3階
☎080-8541-0385



20 相生湾自然再生学習会議

SDGs

藻場（アマモ）の創出、塩生植物「シバナ」の保護・保全、底質浄化、漂着ゴミの回収などカブトガニのいた里海・生物多様性が豊かで美しい相生湾に蘇らす活動に取り組んでいます。

【連絡先】相生市那波西本町17-22 ☎090-5120-8342



21 玉一アクアリウム

SDGs

玉一アクアリウムは、神戸市立玉津第一小学校の在校生と卒業生の約30名が在籍しています。明石川水系で週に1～2度水生生物のモニタリング調査を行い、外来種の駆除と在来種の保護の活動を続けています。

【連絡先】神戸市西区玉津町出合18-2-103 ☎090-3708-8742



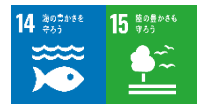


22 ひょうご自然教室

SDGs

1972年の発足以来、「守れよ自然 育てよ子ども」をスローガンに50年以上活動をつづけている自然保護教育団体です。小中学生の子どもたちが共に活動し、自然の中で五感をはたらかせ、遊び、学んでいます。

【連絡先】神戸市中央区橘通3丁目2-3高山ビル2階 ☎080-2115-9415



23 兵庫県立尼崎小田高等学校 環境班

SDGs

地域での探究活動に特に力を入れており、環境をテーマに、瀬戸内海や尼崎運河をフィールドにした探究活動を行っています。

【連絡先】尼崎市長洲中通2-17-46 ☎06-6488-5335



24 神戸山手女子中学校高等学校 (仮)カメラ部

SDGs

2010年から近隣で淡水ガメ捕獲調査を、2011年から神戸市立相楽園にニホンイシガメを導入してその後の動向を調査する域外飼育を行っています。また環境DNAの抽出実験を行っています。

【連絡先】神戸市中央区諏訪山町6-1 ☎078-341-2133



25 兵庫県立御影高等学校 環境科学部

SDGs

六甲山のキノコ調査を17年間継続し、そこから生物多様性を通して六甲山の環境を考えています。展示、イベントや研究発表から環境啓発活動を行っています。最近は海の環境を山の視点から調査・研究も行っています。

【連絡先】神戸市東灘区御影石町4丁目1番1号 ☎078-841-1501



26 ダイハツ工業株式会社

SDGs

(西宮部品センター、多田エンジニアリングセンター)

環境に優しいクルマづくりだけでなく、自然を未来へ残すことに貢献したいと考え、地域の生物多様性を守る活動を進めています。



27 兵庫県立明石北高等学校 科学探究部生物班

SDGs

2022年の発見当初から分布拡大防止のため、部員および有志生徒も含め継続的に活動を行ってきました。行政や企業と協同で、本種の調査および、GISを用いた樹木マップの作成を行い、地域の生態系の維持に貢献しました。

【連絡先】明石市大久保町松陰364番地1



28 シカから自然環境等を守る但馬北部連絡会

SDGs

シカによる被害は農林業被害のみならず森林下層植生が消失し土砂災害を招いています。そのためシカの生息数調査、捕獲、貴重植物を守る保護柵設置、シンポジウム開催、関係機関への働きかけを行っています。

【連絡先】美方郡香美町村岡区日影707-2 ☎090-7114-6944





29 兵庫県立篠山東雲高等学校 自然科学部

SDGs

丹波篠山市は、自然が豊かで多くの生き物がすんでいます。そこで私たちは、外来生物の駆除活動や生物調査、生き物観察会などを通じて自然環境を守ったり、多くの人に知ってもらったりする活動をしています。

【連絡先】丹波篠山市福住1260 ☎079-557-0039



30 西宮市立山口中学校モリアオガエル保存会

SDGs

西宮市山口町で、モリアオガエルの保存活動を56年続けている団体です。モリアオガエルの繁殖だけでなく、取り巻く生態の研究・調査、失われゆくため池の保全についても、地域の諸団体と協力して進めています。

【連絡先】西宮市山口町上山口2-3-43 ☎078-904-0477



31 ひょうご環境体験館

SDGs

播磨科学公園都市にある県立の環境学習施設です。こどもから大人まで幅広い年代の方々に様々な体験型プログラムを通して、地球環境保全活動のきっかけになる環境学習を実施しています。

【連絡先】佐用郡佐用町光都1-330-3 ☎0791-58-2065



32 ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト

SDGs

地球温暖化の進行による異常気象や災害の頻発などの環境問題を多角的に捉え、その解決策を考え、実践できる資質を身につけた高等学校生を育成することを目的に「ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト」を展開しています。

【連絡先】神戸市須磨区行平町3-1-18 ☎078-735-2738



33 ひょうご1.5°Cライフスタイル

SDGs

「ひょうご1.5°Cライフスタイル」とは、地球温暖化を抑えるため、快適な暮らしとの調和を図りながら、脱炭素の視点を取り入れた暮らし方のことです。これまで脱炭素を意識したことがなかった方も、身近なところから生活に「脱炭素」を取り入れてみませんか。

【連絡先】神戸市中央区下山手通5-10-1 (環境部環境政策課) ☎078-362-3156



34 ひょうご豊かな海づくり県民会議

SDGs

「豊かで美しいひょうごの海」の実現に向け、多様な主体が取り組む豊かな海づくり活動のネットワーク化を推進し、会員相互の情報共有や活動の連携、普及啓発を積極的に展開しています。皆様の入会お待ちしております！

【連絡先】神戸市中央区下山手通5-10-1(環境部水大気課内) ☎078-362-3468



35 ひょうご環境保全連絡会

SDGs

本会は、県内事業者など約500の会員で構成された環境団体です。生活環境の保全に加え、温暖化防止、生物多様性及び資源循環など、環境の保全と創造を推進することで、豊かで美しいひょうごの実現を目指しています。

【連絡先】神戸市中央区下山手通5-10-1(環境部水大気課内) ☎078-341-7711 (内戦3388)



グループディスカッション

テーマ

「将来につなぐ兵庫の自然の恵み～私たちができること～」

コーディネーター

たけやま ひろし
嶽山 洋志

兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 准教授



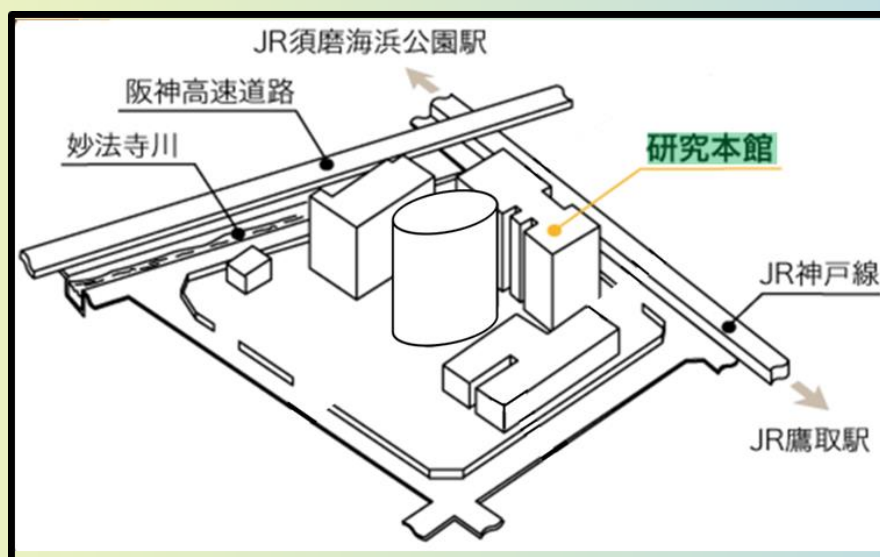
大阪府立大学大学院農学生命科学研究科博士前期課程修了。兵庫県立人と自然の博物館研究員を経て、2008年より現職。2018年度ルイジアナ州立大学ランドスケープデザイン学科客員研究員。主たる専門は「こども環境学」で、子どもの創造力が育つ遊び場のデザインや学習プログラムについて研究。こども環境学会論文賞(2006)、日本造園学会奨励賞(2014)。博士(緑地環境科学)、保育士。

ファシリテーター

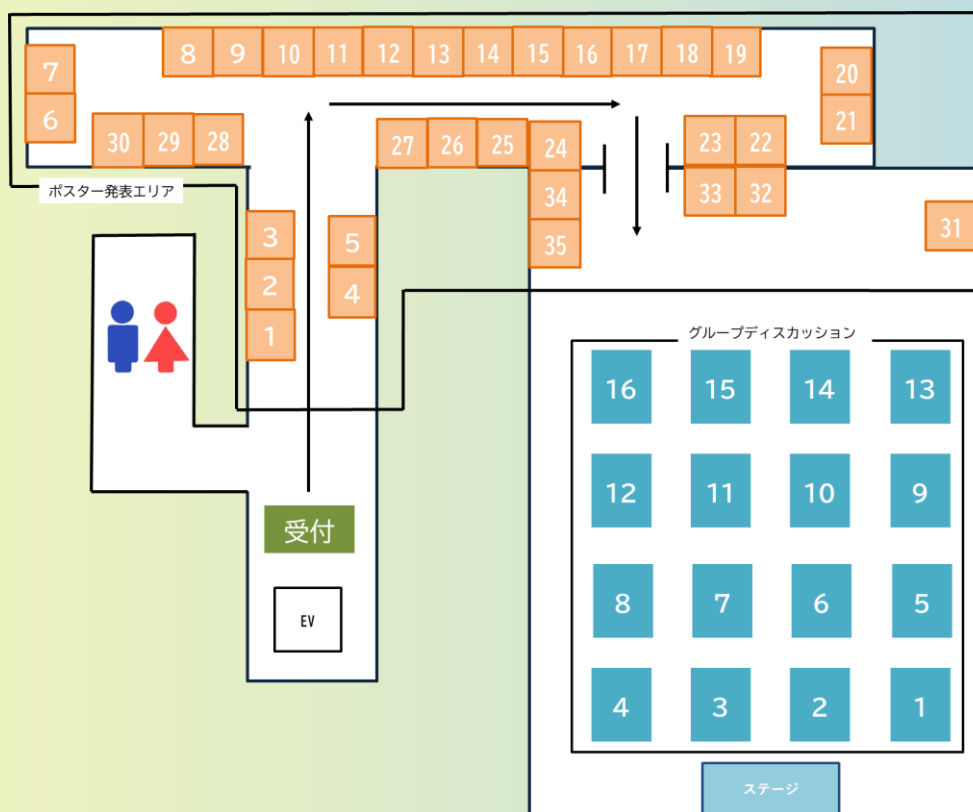
1 班	きよせ しんたろう 清瀬 真太郎 / 兵庫県教育委員会事務局 義務教育課 指導主事	9 班	たかせ ゆうこ 高瀬 優子 / 三田市有馬富士自然学習センター
2 班	いまい ひろこ 今井 ひろこ / NPO法人 たじま海の学校 副代表	10 班	ふじわら よしみつ 藤原 良光 / 兵庫県立福崎高等学校 校長
3 班	おおもと しんや 大本 晋也 / 青山学院大学コミュニティ人間学部 学部特任教授	11 班	おおひら かずひろ 大平 和弘 / 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員
4 班	わたなべ まり 渡辺 真理 / NPO法人 あまがさき環境オープンカレッジ 副理事長	12 班	てらさか みお 寺坂 美桜 / NPO法人 コミュニティ事業支援ネット
5 班	いしまる きょうこ 石丸 京子 / 兵庫県立尼崎の森中央緑地 生物多様性チーフコーディネーター	13 班	ふじわら いっぺい 藤原 一平 / 兵庫県教育委員会事務局 教職員人事課 主任指導主事
6 班	きづき もとひろ 木築 基弘 / MIXIS	14 班	すう まさみ 郷 真砂美 / 兵庫県教育委員会事務局 高校教育課 主任指導主事
7 班	かめやま ひでお 亀山 秀郎 / 認定こども園七松幼稚園 園長	15 班	しんたに けんいち 新谷 健一 / 兵庫県教育委員会事務局 社会教育課 主任指導主事
8 班	みつなり あさみ 光成 麻美 / 兵庫県立淡路景観園芸学校 インストラクター	16 班	すが のりあき 菅 範昭 / 兵庫県環境部長

会場のご案内

兵庫県立工業技術
センター



研究本館
2階



アンケートご協力をお願い

次回の開催に向けて、本フォーラムに関するアンケートを実施いたします。
右記二次元コードを読み取るかURLを入力し、アクセスしてください。



<https://forms.office.com/r/uUnikXbJkE>

第6回 ひょうごユースecoフォーラム （令和6年12月13日）編集発行
兵庫県 環境部 環境政策課 政策班
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1
電話: 078-362-3156 / FAX: 078-382-1580
電子メール: kankyouseisakuka@pref.hyogo.lg.jp